

リリアとトレイズ

四册为一
Y913.6

この本は、いまは全6巻です。(たぶん)
この本の話は大きく3つに分かれています。
全巻、上と下に分かれています。
主な登場人物は、題名で分かることより、
リリアとトレイスです。
リリアとトレイスは、まだ十代なのに
多国語を話せたり飛行機の操縦が
できたりします。
異世界が好きな人にはオススメです。
ちなみにトレイスはヘタレです。参考

Free down ~ 不用誰之力而為之

- ・スマイル大安売り。ただごめんなさい。
- ・洗濯物干し機がござぼう。

何をえぐるにがい

編集後記。

今日はけっこう フリーダム！
威いにぬ、ております。。。

楽しく読んでもらえたのが
うれしいです。

次は夏!? フォーリーが来します。

图 1-1-10 热力学第一定律的数学表达式

もうおごんが食べれなくなりますよ。
あ…あなたが三歳でまたな…。

では、花より団子の
飛鳥 薩改め 雨音 ござたる

稱城市立圖書館

Jim's

{No.6

春 といえば「ひなたぼっこ」
ひなたぼっこをしながら
本をよむのがませんが?

としょかん
スタッフより

春がやってきましたね。
皆には毎年、桜の写真に挑戦するのですが、
現像された桜の色は、お花見の思い出と一緒に残ってい
桜の色にはどうしても敵いません。
プロカメラマンとて、それは同じようで、
「だから僕は桜をモノクロで撮る」と書いている人もいます。
その人の撮った桜の写真を見ると、その効果に納得!!
他の写真や文章も素敵なものなので、興味のある人は見てみて下さい。

『いつも カメラが』 内田ユキオ著 / 740.4-ウ

〔Y-S

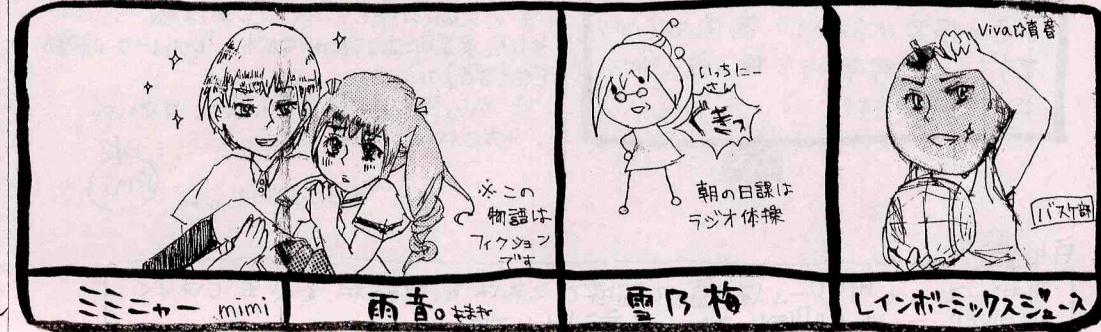
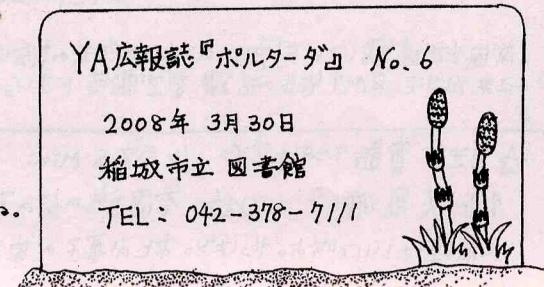
最近暖かくて嬉しいです。うちの犬がおみちをたの布ヒモで廊下を散らかしたのは二年前の春だった気がします。(のちに、その布ヒモは私の罪だつたと判明しました。)春になり、暮んで陽気にならうは、犬も同じみたいですね。今日も嫌がる犬と一緒に、暖かい空の下、散歩にでも行こうと思います。【K・K】

YA広報誌『ポルターダ』 No.

2008年 3月 30

箱城市立図書館

TEL: 042-378-711



ブックトーク

本についてとか何でも
書いちゃえ!ってコト。

今日本好きな本の紹介とか交えて
好きな本でも語っちゃって下さい!って感じで。

私が最近全巻読み終わった本は、
「リリアントレイズ」です。

この本は前々回紹介したキノの旅と
同じ作者の時雨沢恵一さんです。

この本の内容は最後のページに
書いてあると思いますので

読みたければどうぞ

この本はキノの旅と違って短編集では
ありませんのでどうかは

読めません。

どうぞよろしください

Y913.6 ミ 老練

光降る精霊の森

藤原瑞記(Y913.67)

世界観は西洋風で、貴族や騎士や
精霊が出てきます。主人公の男エリが
半精霊の少女に出会い、黒猫におど
されたら(?)して鷹の女王を探しに行
く話です。

景色の描写が細かくて想像が広がります!
ちょっと現実的な旅の感じが
とっても好みです!

豆知識

「サラリーマン」の「サラリー」は「鹽」と意味で、これは昔、お給料をお金ではなく
塩でもらっていたから「サラリーマン」と言います。



私は「バー・カー」がオススメであ
1930年代のアメリカを舞台に広
げられる「馬鹿さわぎ」です。

「バッカーハス」日本語で「馬鹿さわぎ」と
いう意味があるんですよ。

特にオススメしたいのが、2,3巻の「ライング・プッシ
フルト(1931年)」の巻です。
(少しもグロい所とかあるので10歳以下にはあまりオススメ
できません。グロいのは、二分の一成人式をすぎて
からです。)

この巻は、アメリカ行きの急行鉄道、「ライング・プッシー
フルト」。初めは、楽しい旅にはじまります。
そして、食堂車にあるおががながなる。「レイルレーザー(隕路
をなぞる者)」のうわさ。

そこから、楽しい旅が不幸な旅へとがちれていく。
みんな大笑しそう。

Y913.6-ナ たとえます。

RMJ

『今日から②のつく自由業!』

喬林知 (Y913.6タ)

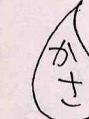
いまより異世界にとばされちゃった
主人公、渋谷有利。

そんな(!?)有利が魔王になつて、
なんやかんやと巻き込まれていく
(ハイテクショニフマンタジー)です。
リネタがいちいち面白いし、アストキ
モレで特に女心向けてあります。
楽しい気分になつたい時はぜひ。

雨音

「サラリーマン」の「サラリー」は「鹽」と意味で、これは昔、お給料をお金ではなく
塩でもらっていたから「サラリーマン」と言います。

UMBRELLA



「今日は、雨が降りそうだなあ。かさでも持つていこう。
彼女は学校にかさを持って行った。しかし、こうに降る気はないがな。少し淋す。
しかし、部活がある、外へ出ると、雨が降る。
ちようどりい」と少し安心する。

彼女は、雨が好きだ。理由は、なんとなくである。
しかし、今日の雨はいちだんといい。今日のかさは新品だからだ。いつもどっちが
ってとてもいい気分なのだ。足どりも、いいかんじである。

帰り道の友達とわかれ家にむかうと、二人の兄妹が。

どうやら、かさがないらしい。

彼女は少し迷う。どうしたらいいものか。この子たちにかさをあたすと、かさもなければ、
ずぶぬれで帰ることになりかねない。しかし、やはりここは。。よし。
ここはおたさないでおくことにしよう。そうした方が、彼らも、世の中ひしがわかる
というものではないか。とう思ひついでいた。その時、兄はにらみ、妹
は泣きそうな顔でこちらを見てくるではないか。。「アッ!」おもしろくて、小さく笑った。

しかし、後味が悪い。

やっぱり、おくかい。いや、ダメだ。そう思ひながらも、戻る。。。なぜだろう。そんな
事をする義理でもなし。ダメ!なんでもどうしたんだよ!! そして私は自然と
かさをおりてかけて行った。私は頭があかくなつたか?と思ったが、
これはやはり、自分の意志だと受け取める。

町の方に来ると、みんな禾や事をあおあきあまり
なり自分で見てくる。少し後悔した。

家に帰ると、母が、タオルを持ってまつていた。
「や、ぱりね。ほら、かかないと風ひやわよ。」
どうしてわかったのと聞く。すると。。。
「あなたは優しいもんや。あとこうする。
思つたからよ。さ、早くお風呂入んなさい!!」
私は一瞬度まどたが、すばやく笑つてみせた。もちろん作り物いやない本当の笑顔。

一本のかさと、一日のある雨の日が
私を、ここまで変えた。

前回まで連載していた「窓辺のニコ」は作品へ気分にそりうちきりになりました。
これからも、RMJ先生の活躍をご期待下さい。



☆ すきな童話ランキンガ ☆ 由 雨音 & Mimi

1位 人魚姫 2位 不思議の国のアリス 3位 ヘンゼルとグレーテル

人魚姫はいいですよ。やっぱソ。あとお菓子の家を見つめたいです。